

表1 感染症と病態に必要な感染予防策の様式と必要期間^{1) 33)}

感染症及び病態	標準=標準予防策のみで対応できるもの	
	空気=標準予防策に空気感染予防策を付加するもの	飛沫=標準予防策に飛沫感染予防策を付加するもの
	様式	必要期間
あ		
RSウイルス (Respiratory syncytial virus) 感染, 新生児, 小児	接触	罹患期間
アクチノミセス症 Actinomycosis	標準	
アスペルギルス症Aspergillosis	標準	
アデノウイルス(Adenovirus) 感染症 (乳幼児)	飛沫、接触	罹患期間
アメーバ症 Amebiasis	標準	
い		
胃腸炎 Gastroenteritis		
ウイルス性 (他の箇所カバーされていなければ)	標準*1	
エルシニア・エンテロコリチカ (<i>Yersinia enterocolitica</i>)	標準*1	
キャンピロバクター属 (<i>Campylobacter</i> sp.)	標準*1	
クリプトスポリジウム属 (<i>Cryptosporidium</i> sp.)	標準*1	
クロストリジウム・ディフィシル (<i>Clostridium difficile</i>)	接触	罹患期間
コレラ Cholera	標準*1	
サルモネラ属 (<i>Salmonella</i> sp., チフス菌 <i>S.typhi</i> を含む)	標準*1	
ジアルジア・ランブリア (<i>Giardia lamblia</i>)	標準*1	
ロタウイルス (Rotavirus)	標準*1	
おむつあるいは失禁状態	接触	罹患期間
赤痢菌 (<i>Shigella</i> sp.)	標準*1	
おむつあるいは失禁状態	接触	罹患期間
大腸菌 (<i>Escherichia coli</i>)		
腸管出血性 (Enterohemorrhagic, O157:H7)	標準*1	
おむつあるいは失禁状態	接触	罹患期間
その他の菌種	標準*1	
腸炎ビブリオ (<i>Vibrio parahaemolyticus</i>)	標準*1	
インフルエンザ Influenza	飛沫*2	罹患期間
う		
ウイルス性肝炎 Viral hepatitis		
A型	標準	
おむつあるいは失禁状態	接触	*3
B型(HBs抗原陽性)	標準	
C型と他の特定されていない非A非B型	標準	
E型	標準	
ウイルス疾患 Viral diseases		
呼吸器 (他の箇所カバーされない場合)		
成人	標準	
幼児または小児 (「呼吸器感染症, 急性」を参照)		
え		
HIV感染症 HIV infection		
エイズ Acquired immunodeficiency syndrome (AIDS)	標準	
エキノコックス症 Echinococcosis	標準	
エコーウイルス (Echovirus) (「腸管ウイルス感染」を参照)		
壊死性腸炎 Necrotizing enterocolitis	標準	
壊疽 Gangrene (ガス壊疽Gas gangrene)	標準	
エプスタイン・バーウイルス (Epstein-Barr virus) 感染症 (伝染性単核症 infectious mononucleosisを含む)	標準	
エボラウイルス出血熱	接触	罹患期間
エルシニア (<i>Yersinia enterocolitica</i>) 胃腸炎 (「胃腸炎」を参照)		
エンテロコッカス属 (<i>Enterococcus</i> sp.) (もし、疫学的問題があるか、バンコマイシン耐性であれば「多剤耐性病原体」を参照)		
お		
オウム病 Psittacosis (鳥類病ornithosis)	標準	
か		
回歸熱 Relapsing fever	標準	
疥癬 Scabies	接触	有効な治療開始後24時間まで
回虫症 Ascariasis	標準	
灰白脊髄炎 Poliomyelitis	標準	
川崎病 Kawasaki's disease	標準	
カンジダ症 Candidiasis (皮膚粘膜型を含むすべての型)	標準	
き		
Q熱 Q fever	標準	
キャンピロバクター (<i>Campylobacter</i>) 胃腸炎 (「胃腸炎」を参照)		
狂犬病 Rabies	標準	
蟻虫 Pinworm infection	標準	
蟻虫症 Enterobiasis (pinworm disease, oxyuriasis)	標準	
ギランバレー症候群 Guillain-Barre syndrome	標準	

肺, 確診, 疑診, 喉頭病変を含む	空気	有効な治療を受けている結核患者が臨床的に改善しており、異なる日に採取した3回の喀痰塗抹検査が抗酸菌陰性の場合もしくは結核が除外された場合にのみ予防策は中止される。
肺外, 髄膜炎*5	標準	
肺外, 排膿病変(るいれき scrofulaを含む)	標準	
結核菌感染者	標準	
結膜炎 Conjunctivitis		
クラミジア Chlamydia	標準	
急性ウイルス性 Acute viral (急性出血性 Acute hemorrhagic)	接触	罹患期間
急性細菌性 Acute bacterial	標準	
淋菌性 Gonococcal	標準	
下痢, 急性感染性が疑われる(「胃腸炎」を参照)		
こ		
呼吸器感染症 Respiratory infectious disease, 急性(もし、他の箇所カバーされていない場合)		
成人	標準	
乳幼児	接触	罹患期間
抗菌薬関連大腸炎 Antibiotic-associated colitis(「Clostridium difficile」を参照)		
鉤虫症 Hookworm disease (ancylostomiasis, uncinariasis)	標準	
喉頭蓋炎 Epiglottitis, インフルエンザ菌(Haemophilus influenzae)による	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
コクシジオイデス症 Coccidioidomycosis (valley fever)		
肺炎	標準	
排膿病変	標準	
コックスサッキーウイルス Coxsackie virus(「腸管ウイルス感染」を参照)		
コレラ Cholera(「胃腸炎」を参照)		
コロラドColorado tick fever	標準	
さ		
細気管支炎 Bronchiolitis(乳幼児では「呼吸器感染症」参照)		
在郷軍人病 Legionnaire's disease	標準	
サイトメガロウイルス Cytomegalovirus感染, 新生児または免疫不全者	標準	
サルモネラ症 Salmonellosis(「胃腸炎」を参照)		
塹壕性口腔炎 Trench mouth(ワンサン・アンギーナ Vincent's angina)	標準	
し		
子宮内膜炎 Endometritis	標準	
ジフテリア Diphtheria		
喉頭	飛沫	抗生物質治療(10日間)を必要とする(少なくとも24時間以上の間隔を空けて施行)が陰性となるまで
皮膚	接触	
住血吸虫病 Schistosomiasis(ビルハルツ吸虫病 bilharziasis)	標準	
出血熱 Hemorrhagic fever(たとえばラッサ熱 Lassa fever)	接触	罹患期間
糸虫病 Tapeworm disease		
有鉤条虫(Taenia solium (pork))	標準	
矮小条虫(Hymenolepis nana)	標準	
その他	標準	
小腸結腸炎 Enterocolitis(クロストリジウム・ディフィシル Clostridium difficile)	接触	入院期間
褥創性潰瘍 Decubitus ulcer(感染性)		
大きい病変(包帯をしていない。もしくは、包帯が膿を十分に封じ込めていない)	接触	排膿期間
小さい病変(包帯が膿を包んで十分に封じ込めている)	標準	
食中毒 Food Poisoning		
ウェルシュ菌(Clostridium perfringens)	標準	
ブドウ球菌性標準 Staphylococcal	標準	
ボツリヌス中毒 Botulism	標準	
虱症 Pediculosis	接触	有効な治療開始後24時間まで
す		
水痘 Chickenpox	空気, 接触 *6	
髄膜炎 Meningitis		
インフルエンザ菌(Haemophilus influenzae), 疑いを含む	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
結核性	標準	
細菌性, グラム陰性, 新生児	標準	
真菌性	標準	
髄膜炎菌(Neisseria meningitidis), 疑いを含む	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
肺炎球菌性 Pneumococcal	標準	
無菌性(非細菌性またはウイルス性)	標準	
リステリア症(Listeria monocytogenes)	標準	
他の同定された細菌	標準	
髄膜炎菌		
肺炎 Meningococcal pneumonia	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
敗血症 Meningococemia (meningococcal sepsis)	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
スポロトリコシス Sporotrichosis	標準	
せ		
性病性リンパ肉芽腫 Lymphogranuloma venereum	標準	
赤痢 Shigellosis(「胃腸炎」を参照)		
接合菌症 Zvaomvcosis(藻菌症 ohvcovmosis, ムコール菌症 mucormvcosis)	標準	

鼠咬症 Rat-bite fever (<i>Streptobacillus moniliformis</i> disease, <i>Spirillum minus</i> disease)	標準	
た		
带状疱疹 Herpes zoster (Varicella-zoster)		
播種性病変または免疫不全患者での限局性病変 免疫が正常な患者の限局性病変	空気, 接触*8	罹患期間 標準*8
耐性細菌感染または定着 (「多剤耐性病原体」を参照)		
大腸菌性胃腸炎 <i>Escherichia coli</i> Gastroenteritis (「胃腸炎」を参照)		
多剤耐性病原体 Multidrug-resistant organism, 感染infectionあるいは定着 colonization*9		
呼吸器	接触	抗生物質中止後培養が陰性となるまで
肺炎球菌性 Pneumococcal	標準	
消化管	接触	抗生物質中止後培養が陰性となるまで
皮膚, 創部, 熱傷	接触	抗生物質中止後培養が陰性となるまで
タムシ Tinea (皮膚真菌症 fungus infection, dermatophytosis, dermatomycosis, 白癬 ringworm)	標準	
単純ヘルペス Herpes simplex		
新生児	接触*10	罹患期間
脳炎	標準	
皮膚粘膜, 再発性(皮膚, 口, 性器)	標準	
皮膚粘膜, 播種または原発性, 重症	接触	罹患期間
炭疽病 Anthrax		
肺	標準	
皮膚	標準	
ち		
腸炎ピブリオ (<i>Vibrio parahaemolyticus</i>) (「胃腸炎」を参照)		
腸管ウイルス感染 Enteroviral infections		
成人	標準	
幼児と小児	接触	罹患期間
腸チフス Typhoid (<i>Salmonella</i> Typhi) fever (「胃腸炎」を参照)		
て		
手足口病 Hand, foot, and mouth disease (「腸管ウイルス感染」を参照)		
デング熱 Dengue	標準*7	
伝染性紅斑 Erythema infectiosum (「パルボウイルスParvovirus B19」を参照)	標準	
伝染性単核症 Infectious mononucleosis	標準	
伝染性軟属腫 Molluscum contagiosum	標準	
と		
トキシックショック症候群 Toxic shock syndrome (staphylococcal disease)	標準	
トキソプラズマ症 Toxoplasmosis	標準	
突発性発疹 Roseola infantum (exanthem subitum)	標準	
(急性)トラコーマ Trachoma, acute	標準	
トリコモナス症 Trichomoniasis	標準	
な		
軟性下疳 Chancroid	標準	
に		
尿路感染 Urinary tract infection (腎盂腎炎 pyelonephritisを含む), 尿カテーテルあり, またはなし	標準	
ね		
猫ひっかき病 Catscratch fever (良性接種性リンパ細胞網症 benign inoculation lymphoreticulosis)	標準	
熱傷皮膚症候群 Scalded skin syndrome, ブドウ球菌性staphylococcal (リッター症候群 Ritter's disease)	標準	
の		
膿痂疹 Impetigo	接触	有効な治療開始後24時間まで
脳炎もしくは脳脊髄膜炎 Encephalitis or encephalomyelitis (それぞれの起因菌を参照)		
ノーウォーク胃腸炎 Norwalk agent gastroenteritis (「胃腸炎」を参照)		
膿瘍 Abscess		
少量排膿 (包帯が膿を包んで十分に封じ込めている)	標準	
大量排膿 (包帯をしていない。または、包帯が膿を十分に封じ込めていない)	接触	排膿期間
ノカルジア症 Nocardiosis, 排膿病変もしくは他の症状	標準	
は		
肺炎 Pneumonia		
アデノウイルス Adenovirus	飛沫, 接触	罹患期間
インフルエンザ菌 (<i>Haemophilus influenzae</i>)		
成人	標準	
幼児と子供	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
ウイルス		
成人	標準	
幼児と子供 (「呼吸器感染症, 急性」を参照)		

バベシア症 Babesiosis	標準	
パラインフルエンザ感染症 Parinfluenza virus infection, 幼児と子供の呼吸器	接触	罹患期間
パルボウイルス Parvovirus B19	飛沫	罹患期間が生じたときは、入院期間中感染対策を継続する。一時的な骨髄無形成もしくは赤芽球病のときは7日間継続する
ハンタウイルス肺症候群	標準	
ひ		
ヒストプラズマ症 Histoplasmosis	標準	
百日咳 Whooping cough (pertussis)	飛沫	有効な治療が始まってから5日間
ふ		
風疹 Rubella (German measles) (先天性風疹 congenital rubellaを含む)	飛沫	発疹が始まってから7日まで*13
ブルセラ病 Brucellosis	標準	
(波状熱 undulant, マルタ熱 Malta, 地中海熱 Mediterranean fever)		
分芽菌症 Blastomycosis (北アメリカ、皮膚または肺)	標準	
糞線虫症 Strongyloidiasis	標準	
へ		
閉鎖腔感染症 Closed-cavity infection		
少量排膿	標準	
排膿なし	標準	
ペスト Plague		
腺ペストBubonic	標準	
肺ペストPneumonic	飛沫	有効な治療開始後72時間まで
ヘリコバクターピロリ	標準	
ヘルパンギーナ Herpangina (「腸管ウイルス感染」を参照)		
鞭毛虫病 Trichuriasis (whipworm disease)	標準	
ほ		
蜂窩織炎 Cellulitis (排膿がコントロールされていない)	接触	排膿期間
胞虫症 Cysticercosis	標準	
ボツリヌス中毒 Botulism	標準	
ま		
マイコプラズマ肺炎 Mycoplasma pneumonia	飛沫	罹患期間
麻疹 Measles, すべての症状	空気	罹患期間
マラリア Malaria	標準	
マールブルグ病 Marburg virus disease	接触	罹患期間
み		
ミコバクテリア Mycobacteria, 非結核性		
創部	標準	
肺	標準	
む		
ムコール症 Mucormycosis	標準	
や		
野兔病 Tularemia		
肺	標準	
排膿病変	標準	
よ		
羊鷲口瘡 Orf	標準	
レンサ球菌感染症 Streptococcal disease		
A群レンサ球菌 group A Streptococcus		
咽頭炎 Pharyngitis, 乳幼児	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
子宮内膜炎 Endometritis (産褥敗血症 puerperal sepsis)	標準	
猩紅熱 Scarlet fever, 乳幼児	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
肺炎 Pneumonia, 乳幼児	飛沫	有効な治療開始後24時間まで
皮膚, 創傷, 熱傷		
大きい(包帯をしていない。または、包帯が膿を十分に封じ込めていない)	接触	有効な治療開始後24時間まで
小さい(包帯が膿を包んで十分に封じ込めている)	標準	
B群レンサ球菌 group B Streptococcus, 新生児	標準	
非group A or Bレンサ球菌, 他の菌所でカバーされていない場合	標準	
多剤耐性(「多剤耐性病原体」を参照)		
ら		
ライ症候群 Reye's syndrome	標準	
らい病 Leprosy	標準	
ライム病 Lyme disease	標準	
ラッサ熱 Lassa fever	接触	罹患期間
り		
リウマチ熱 Rheumatic fever	標準	
リケッチア痘瘡 Rickettsial pox (vesicular rickettsiosis)	標準	
リケッチア熱 Rickettsial fever, ダニ伝播	標準	
(ロッキー山紅斑熱 Rocky Mountain spotted fever, 発疹チフス tickborne typhus fever)		
リステリア症 Listeriosis	標準	

わ

ワンサン・アングーナ Vincent's angina (trench mouth)

標準

(注釈)

*1: 策を適用する。

*2: インフルエンザが確定または疑いの患者の陰圧への個室への収容を推奨している。多くの病院では、インフルエンザ流行時におけるインフルエンザ患者の収容に困難を生ずる。もし、個室が足りなければ同感染症患者の部屋共有を考えるが、少なくともハイリスクの患者との部屋共有は避ける。

*3: 入院中は、3歳以下の小児には予防策を適用する。3～12歳では症状がみられてから2週間、その他は症状がみられてから1週間継続する。

*4: 特別な追加予防策が、感染が確定、または疑われる患者からの血液、体液、組織、汚染された器具の取り扱いと除菌に必要である。

*5: (活動性)肺結核の有無について検査する。もし、証拠がみられたら、付加的な予防策が必要である。(「結核Tuberculosis」を参照)

*6: 9ヶ月の病変が癒化するまで予防策を続ける。水痘の潜伏期は10～21日(平均10～16日)である。適切な場合にはVaricella-zoster免疫グロブリン(VZIG)を投与し、可能であれば感受性のある(抗体が陰性あるいは不明で感染の危険のある)患者を退院させる。曝露後の感受性のある患者には曝露10日後から空気感染予防策を開始し、最後の曝露後21日(VZIGが投与された患者では28日)まで予防策を継続する。免疫のある介護者がいれば、感受性のある人は予防策下の患者の部屋に入らないようにする。

*7: 流行地域においては、窓とドアにスクリーンを設置する。

*8: 水痘に感受性のある人は帯状疱疹の病変のある患者に曝露すると水痘となる危険性がある。そのため、感受性のある人は免疫のある他の介護者がいれば部屋に入らない。

*9: と判定された耐性菌

*10: 母親が活動性感染であり、羊膜が破裂して4～6時間以上経過した経膈分娩または帝王切開にて出産した新生児

*11: 免疫不全患者との同室は避ける。

*12: *B. cepacia*が発症・定着していない嚢胞性線維症の患者との集団隔離や同室は避ける。

*13: 先天性風疹の場合は、生後3カ月以後に咽頭や尿培養がウイルス陰性であっても、1才になるまでは入院する度に乳児を予防策下におく。